

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、明けましておめでとございませう。足かけ九年目に入つたかわら版。去年の**お釈迦様の生涯**に続いて、今年はお釈迦様の生涯をお伝えします。

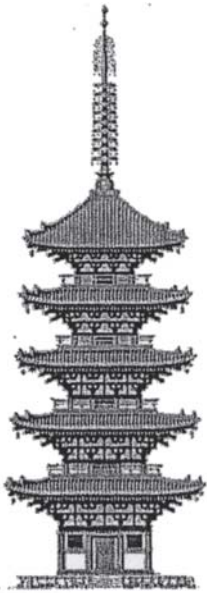
★根本分裂と枝末分裂

紀元前四六三年に誕生したお釈迦様。八十歳の**紀元前三八三年**に入滅しました。

入滅直後に五百人の**阿羅漢**(高弟)が集まって開いた**第一結集**(けつじゅう)。教への継承の始まりです。

その約百年後に開かれた**第二結集**。戒律の解釈を巡って大衆部(だいしゅぶ)と上座部(じょうざぶ)に**根本分裂**。

前者は**大乘仏教**(大衆のための仏教)に発展。インドから北に伝わったために**北伝仏教**と呼ばれました。一方、後者は僧(修行者)が自ら悟るための**小乗仏教**のルーツ。



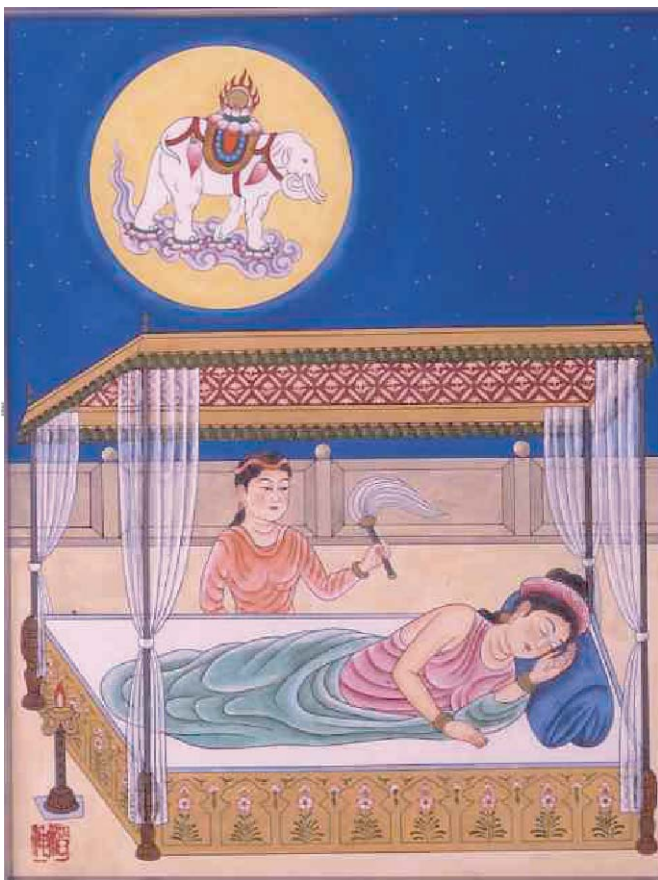
南に伝わって**南伝仏教**となります。その後、仏教は多くの部派に**枝末分裂**(しまつぶんれつ)し、**部派**仏教の時代となりました。

★アシヨーカ王と仏伝文学

仏教がインド全土に広まるのは**紀元前二六八年**に即位した**マウリヤ朝のアシヨーカ王**のおかげと言えます。

アシヨーカ王はインド統一の過程で体験した悲惨な戦争への反省から仏教に傾倒。信仰の対象となっていた**仏舎利**(お釈迦様の遺骨)を**八万四千の仏塔**(ストウーパー)に祀り直し、

仏教はインド全土に広がり、僧は参拝する信者はお釈迦様のことを知りたがる。思つたことと違ふ。僧はし、僧は



マーヤ夫人は天から六牙の白象が降りてきて右脇から体の中に入る夢をみて妊娠したといひます

仏教の難しい教義(**アビダルマ**)などの修得に没頭していたため、お釈迦様の生い立ちなどのエピソードは**仏塔守**(言わば在家信者)が口伝で語り継ぎました。その中で、お釈迦様は徐々に神格化、超人化され、**仏伝**(ぶつでん)文学と言われる物語に発展していきます。インドではもともと**輪廻転生**(りんねてんしょう)という考え方が普及してました。**仏伝文学**の中では、**スメーダ**というバラモン(司祭)階級の青年が「遠い未来に悟りを開いて仏になる」との予言を授けられ、何回も輪廻転生した後に**兜率天**(とそつてん)に昇ります。兜率天での生を終える時、**六本の牙を持つ白象**となってお釈迦様の生母である**マーヤー夫人**の胎内に宿りました。

★ジャータカ物語

お釈迦様を巡る仏伝はインドの民話や伝説の主人公と混然一体となり、やがてお釈迦様の前世の物語である**ジャータカ物語**が誕生します。日本では、**本生譚**(ほんじょうたん)、**本生話**(ほんじょうわ)と言われています。

お釈迦様の前世である国王が、鷲に狙われた鳩を救うために自分の体の肉を差し出すといった説話の類です。

仏教が世界各地に伝わる過程で、ジャータカ物語は各地の民話等に影響を与えていきました。

例えば、**イソップ物語**や**アラビアンナイト**。日本でも、**今昔(こんじやく)物語**や**宇治拾遺(うじじゅうい)物語**が影響を受けていると言われています。

いづれにしても、仏教が広がっていく中で、お釈迦様はさらに神格化、超人化されていきます。

★大乘仏教

裕福な王侯貴族に保護されて僧院にこもって教義を勉強していた僧たちの目指した**上座部(小乗)仏教**。

それに対して、**仏塔守**(在家信者)を中心として誕生した**大乘仏教**。来月は上座部仏教と大乘仏教の違いと、**インドでの仏教の顛末**をお伝えします。乞ご期待。

